

【事業名】地下水冷熱を活用した電気・熱出力可変型CGSによるエネルギーの面的利用とBCP対策強化事業

■ 事業概要

主な事業者	三井住友ファイナンス&リース株式会社 株式会社西日本キャンバック 東邦ガスエンジニアリング株式会社
事業地	岐阜市鶴田町三丁目7番地の5
施設名称	株式会社西日本キャンバック
延床(施工)面積	400m ²
主に利用する再・未利用エネルギー	地下水冷熱 CGS廃熱(蒸気)
主な導入設備	ガスタービンコージェネ 2.0MW×1台
事業期間 (稼働予定)	2016年10月~2018年1月 (2018年2月稼働予定)
省エネ効果見込	省エネ量: 1,132kL/年、省エネ率: 11.2%

■ 事業の特徴

- 岐阜県の豊かな地下水に着目し、地下水冷熱を活用した夏季の発電出力可変型CGSを導入、複数棟の生産工程に対してエネルギー利用を面的に再構築する事業。
- 熱供給量の出力範囲を拡大した新型追焚付排ガスボイラを導入、従来タイプより最大出力を約40%向上、高効率な追焚付排ガスボイラを有効活用した省エネ事業。
- 季節間及び長期的な生産変動にも最適稼働計画・運用を実現するため、出力可変型CGS及びEMSを組み合わせた新たなモデル事業の構築を目指す。

■ 導入効果

- 省CO₂量(省CO₂率): 1,541t/年 (8.0%)
- 費用対効果: 411 kL/億円

